事前評価チェックシート

計画の名称： 青森市における循環のみちの実現（重点計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　・下水道事業計画による事業認可計画面積5,448haのうち平成27年度末で4373ha（汚水）が整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）　・地域住民の生命・財産の保護を目的とした整備計画の目標を立てている。　・地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性　・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性　・定量的指標は当市の下水道の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性　・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。　・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　・地域住民からの要望のある区域を整備することで、水洗化率の向上を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）　・地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　・他事業である集落排水事業，合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。	○

案件番号：0000172370